



G7サミットに「日本一鹿児島黒牛」を提供

JA鹿児島県経済連は、5月20日(土)広島で開かれた先進7カ国首脳会議(G7広島サミット)の社交夕食会に第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会で農林水産大臣賞、内閣総理大臣賞ならびに最優秀枝肉賞を受賞するなど、すばらしい成績を収めた「日本一鹿児島黒牛」を提供し、G7各首脳らが味わいました。

料理はA5等級の鹿児島黒牛のヒレ3頭分が「鹿児島和牛フィレ肉ブリオッシュ包み焼き 枝豆のエクラゼと彩り野菜 トリュフ風味ソース」として振舞われました。

また、4月のG7長野県軽井沢外相会合ではランチに鹿児島黒牛フィレ鉄板焼、G7宮崎農業大臣会合では歓迎セレクションや夕食会に鹿児島黒牛ロースしゃぶしゃぶや鹿児島黒牛の活部煮、鹿児島黒牛の壺作り黒酢煮を提供しました。

JA鹿児島県経済連では、「日本一鹿児島黒牛」のさらなる知名度向上と銘柄確立、併せて輸出拡大に取り組んでまいります。

INFORMATION 華蓮鹿児島店・Zino「かごしま茶を使ったメニュー」のご案内

JA鹿児島県経済連は、燐々と輝く太陽の恵みと豊かな緑の大地で育まれた「かごしま茶」を、新茶の季節に余すことなく味わっていただこうと、華蓮鹿児島店・Zinoで、「かごしま茶を使ったメニュー」を6月30日(金)まで提供いたします。



「鹿児島抹茶」などを使った各店舗の特色を生かした魅力満載のメニューをご用意しています。

飲んでも食べてもおいしい「かごしま茶」の魅力を、ぜひ期間限定の特別メニューでお楽しみください。

問い合わせ先 華蓮鹿児島店 099-223-8877
Zino 099-216-1800

INFORMATION JA鹿児島県経済連・(株)エーコープ鹿児島オンラインショップ統合について

(株)エーコープ鹿児島が運営するオンラインショップ(かごしまよかもんnet・おいどんショップ鹿児島)がJA鹿児島県経済連オンラインショップに移転し、一つのショップとして生まれ変わりました!

これまで(株)エーコープ鹿児島のオンラインショップで販売していた商品については、今後、JA鹿児島県経済連オンラインショップ「ふるさと便」でお買い求めいただけます。

ますます充実の「ふるさと便」をぜひご利用ください。

○ショッピング一覧

- (1) 自社通販サイト「JA鹿児島県経済連ふるさと便」
URL: <https://furusato.karen-ja.or.jp/>
- (2) JAタウン:「JA鹿児島県経済連ふるさと便」
URL: <https://www.ja-town.com/shop/c/cD9/>

問い合わせ先 経済連 生活課 0120-722-188

問い合わせ先 経済連 肉用牛課 099-258-5411



JA journal "IBUKI"

いぶき

鹿児島の農と協同の息吹
令和5年6月 年6回発行

鹿児島市鴨池新町15
発行者 企画開発課
電話 099-258-5315
<https://www.karen-ja.or.jp>

第67号



米国で鹿児島黒牛トップセールス (在ロサンゼルス領事館 曽根総領事へ薩摩切子を贈呈)

経済連HP
<https://www.karen-ja.or.jp/>



経済連facebook
<https://www.facebook.com/jakagoshimakenkeizairen>



経済連Instagram
ID:ja_kagoshimakenkeizairen



「農」を通じて幸せを提供する
JA鹿児島県経済連グループ

PICKUP テッポウユリ「咲八姫」を農林水産大臣へ贈呈

4月12日(水) 知名町花卉振興会テッポウユリ会 平部会長や経済連末永常務らが出席し、野村農林水産大臣に「咲八姫」を贈呈しました。

「咲八姫」は鹿児島県がテッポウユリの品種改良に取り組み開発した、世界初の八重咲きの品種です。

野村大臣は「咲八姫」の由来を尋ねるなど、地元鹿児島県の訪問を歓迎しました。

また、末永常務から、4月の短期間しか出荷ができない「咲八姫」を「貴重な花だ」と紹介し、販売への意気込みを示しました。



PICKUP 米国で鹿児島黒牛トップセールス

J.A.鹿児島県経済連とJA食肉かごしまは、米国ロサンゼルスにおいて鹿児島黒牛のトップセールスを実施しました。

現地のインポーターであり食肉加工販売会社であるPZF社では、コストコなど量販店における和牛の取扱いや、ネット通販により和牛の需要が爆発的に拡大し、需要のそぞろが広がっているといった状況の確認、さらに従来のブロック肉での販売だけではなく、串商品やスライス肉等、和食にも合うスタイルでの販売などについて協議することができました。

PZF社では和牛の取扱いのうち約8割を鹿児島黒牛が占めており、今後の展開について、全米から富裕層が集まり世界からクルーズ船が寄港するリゾート地におけるフェアの実施や、米国のマーケットに対応したインパクトのあるPR動画の作成など、積極的な提案をいただきました。さらに、今回のトップセールスを契機に鹿児島との連携を深め、これまで以上に鹿児島黒牛の販売に力を入れてくださるという、ありがたい言葉をいただきました。

在ロサンゼルス総領事館では、曾根総領事出席のもと1時間におよぶ協議がなされ、本会より全共を中心に鹿児島黒牛の取組みを報告し、総領事館からは輸出支援策や日本の農畜産物の普及状況などについて説明がありました。今後、米国のアジア人居住地域などにおける鹿児島黒牛の需要拡大も見込まれており、イベントへの出店や鹿児島黒牛のマーケット拡大に向けて協議を行いました。総領事館では、JETRO(独)日本貿易振興機構やalic(独)農畜産業振興機構と連携した支援も含め、米国における鹿児島黒牛の販売促進に向けた、後押しを表明いただきました。

さらに、全農グレイン社ではコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻による影響等に対応した、穀物の安定供給に向けた集荷・輸出体制や生産性の向上対策について確認しました。

今回は、鹿児島黒牛の新たな販路拡大の提案をいただきなど、トップセールスによる大きな効果がありました。引き続き、JA鹿児島県経済連グループは輸出拡大に向けた取組みをより一層強化してまいります。



PICKUP かごしま茶新茶初取引会

4月6日(木)かごしま茶流通センターにて、全国に先駆けて令和5年産かごしま茶新茶初取引会が開催されました。5市町から799点 81,417.9kgが上場され、県茶市場の買受人22社が入札を行いました。

鹿児島県茶業会議所柚木会頭は「数多くの品種や全国一有機栽培面積を有するなど、『かごしま茶』の特徴を国内外に発信し、消費拡大に努めたい。生産者に応えられる相場展開を期待したい。」とあいさつしました。

今年度の新茶初取引会の結果は、1kgあたり高値12,023円、平均2,748円となりました。



PICKUP JA鹿児島県経済連植物病院®開院セレモニー

JA鹿児島県経済連は、病害虫外観診断や、遺伝子検査を行う「東京大学植物病院®連携JA鹿児島県経済連植物病院®」を経済連食品総合研究所内に開院しました。

4月3日(月)の開院セレモニーでは柚木会長のあいさつ、出原理事長による概要説明のあと、県内で唯一の植物医師®の資格を持ち、院長となる肥料農薬課の徳永技術主管による診断業務の説明や分析機器の視察なども行われ、多くの報道陣も駆け付けました。

JA鹿児島県経済連植物病院®では、関係機関と連携しながら、安心・安全な農作物の生産及び生産者の所得向上に寄与すべく、病害虫の迅速な診断、適切な防除対策を提案し、「南のとりで」として努めてまいります。



問い合わせ先 経済連 肥料農薬課 099-258-5485

PICKUP イオンリテール(株)東海カンパニー 鹿児島フェア



3月30日(木)～4月2日(日) イオングループにて「鹿児島フェア」を開催しました。

今が旬の「新じゃがいも」や「スナップえんどう」、「大将季」、「鹿児島黒豚」、「知覧茶」、「ヒノヒカリ」などたくさんの鹿児島県農畜産物がPR・販売されました。

多くのお客様で賑わい盛況のうちに終了することができました。

PICKUP 東京大学植物病院®連携JA鹿児島県経済連植物病院®研修会を開催

5月18日(木) JA鹿児島県会館にてJA指導員や県の普及員ら約100名を対象に東京大学植物病院®連携JA鹿児島県経済連植物病院®研修会を開催しました。



東京大学植物病院®の難波院長を招き、「気候変動で植物病による被害が拡大している。幅広い専門知識を持った植物医師®による診断が求められている。」とし、植物医科学や植物病院®設置の重要性についてご講演いただきました。

また、本会植物病院®の徳永院長は「病害虫で困っている農家のために、気軽に相談してほしい。」と病害虫診断等の利用促進を呼びかけました。

PICKUP 第38回春期JA農機大展示会

3月～4月にかけて第38回春期JA農業機械大展示会が、南薩・北薩・大隅地区の3会場で開催されました。



展示会当日は、新型コロナウィルス感染防止対策を実施しながら、各地域の作物形態に適した農業機械や農作業省力化をはかるスマート農機など、組合員のニーズに適した機械の紹介や展示を行いました。

ご来場、誠にありがとうございました。

PICKUP 福岡で野菜フェア

4月17日(月)～18日(火) JR博多駅マイヤー広場にて『鹿児島県JAの野菜直売会』を開催しました。



当日は、鹿児島県が生産量日本一のそらめやオクラなど12種類の野菜を販売しました。

昨年12月に続き、2回目の開催となり、お客様から「前回、品質がよかつたので今回も買いたい」との声もいただきました。また、食べ方や保存方法の提案なども行い、多くのお客様に鹿児島県産の野菜を手に取っていただくことができ、大盛況のうちに終了しました。



マンゴーの木の寿命は長く、樹齢300年ぐらいのものもあります。また、繁殖力も強く、品種改良も盛んであり、品種は500種類以上ともいわれます。